教育委員会１０月定例会会議録

日時　令和８年１０月１５日（木）　午後２時３０分から午後３時３３分まで

場所　市役所１１階北会議室

出席者

（教育委員）

教育長	山中　茂樹	教育長職務代理者	奈良　知彦
委員	畠山　正文	委員	渡辺　照子
委員	北爪　麻衣子		

（事務局）

教育次長	髙橋　良祐	総務課長	加藤　正寛
教育施設課長	柳井　英孝	文化財保護課長	神宮　聡
学務管理課長	織田澤　信司	学校教育課長	小池　英雄
前橋高等学校事務長	岩瀬　孝弘	前橋高等学校校長	髙野　裕史
生涯学習課長	宇次　明	教育支援課長	新井　正樹
図書館長	吉田　宣子		

【教育長】
　これより前橋市教育委員会１０月定例会を開会いたします。
　直ちに本日の会議を開きます。
　９月定例会の会議録については、既に配付済みであります。記載事項に異議等ありませんか。

（異議なし）

【教育長】
　異議のないものと認め、承認いたします。
　議事は、議事日程第１号のとおり進めます。
　日程第一。会期の決定ですが、本会議の会期は、本日一日といたします。
　日程第二。会議録署名委員の指名ですが、本日の署名委員に畠山委員と渡辺委員を指名いたしますので、よろしくお願いいたします。
　日程第三。教育長提出の諸報告について報告いたします。

教育長提出の諸報告

報告１　総括的報告
【教育長】
　本日、３件について報告いたします。
　１件目は、まえばし学校教育充実会議についてです。１０月２日に行われました。この会議は校長会、教頭会の代表者とともに、本市の学校教育の充実に向けて学校現場の課題などについて協議をするものであります。
　主体的・対話的で深い学びの実装ということと、こどもたちが安心して生活できる居場所づくりの２つについて協議をしました。１つ目の深い学びの実装については、各校とも校内研修の取り組みの話を中心に伺わせていただきました。こどもが主体的に考えるために、自分事と捉えられるよう課題設定の工夫、単元の学習を通して実現したい姿や何を学ぶのかということをはっきり示したりすること、協働につながる関係づくりの工夫などが出されていました。そうした授業改善のためには、教師自身が指導の課題を自分事として捉え、主体的に取り組む必要があり、深い学びの具現化に向けた指導主事からの指導や管理職からの計画的な働きかけの重要性を共有することができました。２つ目のテーマの、こどもの居場所づくりに関しては、次期指導要領の改訂の方向性の中では多様性の包摂ということと深い関わりがあります。現在も学校経営方針の中で、あたたかな人間関係づくりを重視し、日頃の言葉かけを大切にしているが、教師自身がこどもの多様性をそのまま受け入れるとともに、教師同士の間において、些細なことも共有できる関係性が大切というご意見もありました。また、特別支援学級と通常学級が行事や給食の場面で日常的に交流したり、体育大会において多様な生徒が活躍できるように、種目やルールを生徒自身が話し合って作り上げているといった報告もあり、生徒主体の活動の中で、こども同士が互いに認め合うことが大切であるとのお話もありました。不登校傾向のこども、特別に支援を要するこどもに対して、学校には現在は多くの職員を配置していますが、多様なこどもが校内で安心できる場を作るとともに、特定の場に囲い込むのでなく、在籍する学級との間の敷居を低くすること、学級そのものの中で互いに認め合える環境を作っていくことを

共有しました。今後の学校教育のあり方について大変意義深いものがありました。

２件目ですけども、１０月３日に中学校駅伝大会が行われました。昨年度は木瀬中学校男子が全国優秀し大きな話題となりました。今年度は９月中、雨の日が多くて、練習がなかなか予定通りといかない学校もあったのではないかと思います。当日はそれまでと変わって晴天で、汗ばむようなコンディションでした。各学校の選手たちがその中でも各々力を精一杯出し切り、懸命にタスキをつなぐ姿は大変見応えがありました。学校代表の選手、オープン参加チームの選手、さらに部活動の枠を超え、切磋琢磨し合ってきた仲間それぞれにとって価値ある大会になったことと思います。校長先生方はじめ、支えてくださった先生方、保護者のみなさまに感謝を申し上げます。なお今年度男子優勝の木瀬中学校は昨年度のチーム記録を上回る大会新記録だったということです。男女とも上位７チームは県大会に出場します。今後の活躍にも期待したいと思います。

３件目として、１０月９日に前橋市交通指導員表彰式を行いました。毎日こどもたちの交通安全を見守ってくださっている交通指導員さんのその功績を称え、表彰をさせていただきました。今年度は勤続３０年の特別功労者１名、勤続６年の功績者７名でした。勤続３０年と申しますと、親子二代にわたりお世話になった方もいると思います。どんな天候の日もこどもたちを見守り、指導にあたってくださっていることに対して、敬意と感謝をお伝えいたしました。

このほか、７日には小学校陸上記録会が行われ、晴天、強風の中で多くの好記録が生まれ、例年以上の児童が標準記録を上回り、２８日の県大会出場が決まりました。１０日、１１日に行われた前橋まつりでは、小学校の鼓笛吹奏楽の演奏があり、多くの市民の方に日頃の練習の成果を見ていただくことができました。市立前橋高校の吹奏楽部と書道部のパフォーマンスで、二日目のオープニングが大いに盛り上がっていました。各地域の運動会や文化祭で活躍する姿が見られると思います。支えてくださっている地域の皆さんに改めて感謝したいと思います。

以上です。

報告２　令和８年度全国学力・学習状況調査結果について

【学校教育課長】

報告２　令和８年度全国学力・学習状況調査の本市の結果について報告いたします。資料２ページをご覧ください。

１目的についてですが、本調査の目的は「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することで、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること」また「学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てること」「これらの取り組みを通じて、継続的な検証改善サイクルを確立すること」でございます。

２実施日についてですが、令和８年４月２３日に行われました。

３対象についてですが、小学校６年生と中学校３年生となっております。

４調査内容については、例年実施されている国語、算数・数学に加え、中学校では英語の調査も行われました。また、児童生徒の学習意欲や学習方法、学習環境などに関する質問調査も例年通り行われました。

５学校数についてですが、小学校４６校、中学校２０校となっており、市内全ての小中学校で実施することができました。

６教科に関する調査の結果についてですが、小学校国語は、全国の平均正答率を上回り

ました。小学校算数は、全国と同等でした。中学校国語、数学は、全国の平均正答率を上回りました。中学校英語は、昨年度の理科と同様、ＣＢＴ調査で行われ、正答率ではなくＩＲＴスコアという指標が使用されておりますが、これについても全国を上回りました。なお、各教科の主な成果と課題については表のとおりです。

続きまして、資料３ページをご覧ください。このページから５ページが、市教委が各小・中学校に依頼した各学校の分析結果をまとめる報告様式となっております。３ページでは国語についての分析、４ページでは算数・数学についての分析、そして５ページでは質問調査についての分析となっております。３、４ページについての、１は平均正答率、２は全国及び本市の共通する傾向、３は各学校の成果、４は各学校の課題、５は学力向上及び授業改善に向けた取り組みが示されております。

また、５ページでは、児童生徒質問の分析を基にした、児童生徒の学習環境や生活環境の改善等に関する保護者に向けたお願いが示されております。

３ページから５ページまでの資料は、授業改善に向けた校内での共有はもちろん、各家庭や学校運営協議会委員等にも伝えられております。

続きまして６ページ、７ページをご覧ください。本資料は、市教委が質問調査を分析し、各校に通知したものになります。６ページが小学校調査、７ページが中学校調査となります。それぞれ、１は生活習慣に関わる質問、２は学習習慣に関わる質問、３は自己有用感に関わる質問、４は向社会性に係る質問、５はその他本市において特徴のみられる回答を示しております。なお小中学校における大きな回答傾向の差はみられませんでした。

今後、市教委といたしましては、今回の調査結果を十分に踏まえ、改善策を示し、計画訪問や要請訪問、教科別研究会などの機会も捉え、各学校の課題解決に向けた先生方の指導力の向上及び授業改善が図れるよう支援してまいります。

【教育長】

以上の報告について、質疑等はございますか。

【北爪委員】

５ページについては、昨年度までのでいうご家庭へのお願いなのかと思います。昨年度までは、文章だけでずらずらと並んでいて、スマートフォンでその配信を受け取っていたのもあり見るのが大変で、なかなか読んでもらいづらかったなという印象がありましたが、今年はパッと見でカラーで、なんて書いてあるんだろうって見たくなるような改善をしていただいていて、本当にありがとうございました。

【学校教育課長】

保護者の方にお示しする内容というのは本当に貴重な機会でございますので、今後も保護者や地域の方になるべく見やすい資料づくりに努めていきたいと思います。

【畠山委員】

６、７ページに色々な項目がある中で、私がすごく印象深く感じたのは向社会性にかかわる質問です。３３番、地域や社会をよくあるために何かしてみたいと思いますか、という質問に対して、そもそも全国平均が小学校で約８割、中学校で７割に達していて高いにも関わらず、それを更にやや上回るっていうことで、地域とか社会に対してこどもたちが役に立ちたい、何かしたいっていう感じがあるんだなっていうのを、すごく印象深く拝見

しました。冒頭の教育長の話の中でも居場所の話がありましたし、コミュニティスクールの話もこれまで何度も出てますけど、地域や社会にこどもたちも積極的に関わっていくことで、可能性があるんじゃないかなと思いました。こういう結果が、今後の取り組みにつながっていくといいと思いました。

【学校教育課長】
本市においては、生涯学習課の取り組みもそうですけれども、地域との繋がりを小学校も中学校も大事にして様々な取り組みを行っています。そういったことがこどもたちに影響を与え、このような結果が出たのかと思います。また、小学校、中学校それぞれですが、特に総合的な学習の時間で、地域の学習を進める学校が、今、本当に増えてきております。地域のことをよく知る、地域に出かけて行って地域の方と対話をする、地域を良くしたいという学習の場面を、私たちは計画訪問でよく目にするところです。そういった学校の地道な取り組みも影響してるのかなと思います。今後、こういったデータから、各学校の方にもこのあたりの周知を進めていきたいと思います。

【奈良委員】
６、７ページの３番の自己有用感に関わる質問の中で、７番、学校での悩みについて、あなたの親や家族はどのぐらいあなたと話しますか、という質問で、全国平均もそうですが、小学校で３５％、中学校での３６％とかなり低いと思うんです。地区別教育懇話会に行っても、保護者の方が、やっぱりこどもと話す機会が少ないし、何を考えてるかはよくわからないっていうような話を度々しています。これは学校だけ、あるいは教育委員会事務局だけでどういうふうにもできないことと思いますので、これをぜひ保護者とどこかで共有した方がいいかなと思います。この子たちはどこで悩みを解決してるのか、ちょっと気になるところです。

【学校教育課長】
小中学校とも全国をやや上回るという結果にはなりますが、全体的に見て、奈良委員さんがおっしゃる通りだと考えております。関係各課との連携とともに、やっぱり各学校での取り組みを市教委としてしっかり掴んでいきたいと思っています。

【奈良委員】
学校サイドだけでは絶対解決できないと思うんですよね。保護者の方が状況を知る機会も必要だと思います。

【畠山委員】
６年生と中学３年生です。もう６年生だと思春期に入ってきて、なかなか親とこういう話をするっていうメンタリティーにならなくなっています。発達段階的にそんな感じだと思います。なので、私はやっぱり大事なのは、もちろん親御さんがそのことを知っていることも大事なんですが、それプラス、学校や家庭以外の場所でこういう悩みを話せる場所をいかに作るのかというのが大事だと思います。それが先ほどのコミュニティスクールとか居場所のにつながるのかと思います。この問題は親が知ったところで、なかなか本人が話さない気がします。

【奈良委員】
年齢もありますね。悩んでいる子、困った子がどのように解決させていくのか気になります。これが不登校やいじめにつながったり、抱えている色々な問題が改善しない心配があります。

【畠山委員】
誰にも相談できないというその数字がちゃんと実際出たというのは、知っておいたほうがいいと思います。

【学校教育課長】
５ページの保護者用資料で、星印で各家庭にお願いをしているところでございます。合わせて、６，７ページの、例えば３の（１３）の、困りごと不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか、という問いに対し、こちらも全国をやや下回るということでした。大人以外で相談できるところがあるというふうな見方もできるかなと思いますけれども、こういったことに、学校は意識をしながらこどもたちと学校生活をしていく必要があるのかなと思います。

【教育長】
今のような議論のもとにも、やっぱりこういうデータがあることによって発達していくかなと思うので、適切に情報提供していただいて、保護者の皆さんにとっても話のきっかけにしていただけたらいいと思います。

【教育長】
ほかはいかがでしょうか。
なければ、以上で報告は終わりにさせていただきます。

【教育長】
日程第四。教育長提出の議案を上程いたします。議案第２１号を議題といたします。説明をお願いします。

議案第２１号　令和７年度前橋市教育委員会事務点検・評価報告書について
【総務課長】
教育委員会議案第２１号 令和７年度前橋市教育委員会事務点検・評価報告書について、ご説明いたします。
資料の８ページをご覧ください。本件は、令和７年度前橋市教育委員会事務点検・評価報告書の内容を決定しようとするものでございます。
資料の９ページと１０ページが報告書（案）の概要として、各重点施策とその評価を一覧にしたものでございます。報告書（案）の本編は、別冊となります。
まず、この点検・評価についてですが、教育振興基本計画に位置づけた重点施策に係る令和７年度の取り組みを、目標指標の達成状況や具体的な取り組み内容などを踏まえて評価したものでございます。点検及び評価の実施に当たっては、外部評価委員として、群馬大学大学院の音山教授、共愛学園前橋国際大学の後藤副学長、野口教授の３名の方にご協力いただき、各担当課が作成した施策評価シートについて、外部評価委員の皆様からヒア

リングを実施し、内容の確認等を踏まえて必要な修正を加えた上で、報告書（案）を作成したものでございます。
　では、資料の９ページ、各重点施策とその評価の一覧表をご覧ください。４８の重点施策、今回の評価、またその右の列には前回の評価、を載せてあります。
　前回との評価が変わった施策を見てみますと、「１　学校教育分野」では、（２）高校教育に関する施策No.１２が前回のＢ評価からＡ評価へ、また、（４）特別支援教育に関する施策No.１６が前回のＡ評価からＢ評価となりました。
　「２　青少年教育分野」では、（２）生徒指導と教育相談に関する施策No.２２とNo.２４がいずれも前回のＢ評価からＡ評価となりました。
　「３　社会教育分野」では、（１）生涯学習に関する施策No.３０、（２）図書館に関する施策No.３２とNo.３３が前回のＢ評価からＡ評価となり、また、施策No.３４は前回はＣ評価でしたが、Ｂ評価となりました。この施策No.３４のみが前回、Ｃ評価だったのですが、これは新小学１年生への図書利用カード配付事業について、その申請の方法を見直したために率が下がったことなどが理由でしたが、その後、登録の利便性の向上に継続的に取り組んでいることやブックスタート事業を拡充できたことなどを踏まえ、今回、Ｂ評価に改善されたものでございます。
　最後に、「４　教育環境整備分野」では、（１）教育施設整備に関する施策No.４３が前回のＢ評価からＡ評価となりました。
　全体では、１０ページの最後にありますとおり、全４８施策中、Ａ評価が２４件、Ｂ評価が２４件でございます。
　また、今回の点検・評価では、教育振興基本計画の開始から３年が経過したことを踏まえ、各重点施策の進捗状況を中間的な視点から整理するとともに、後期計画に向けた取組の方向性を示すため、中間評価もあわせて実施し、必要に応じて、目標指標及び具体的取組の内容を一部修正いたしました。修正内容の全体像については、本編資料の巻末に一覧として掲載しております。
　報告書案につきましては、本日ご審議いただき、決定いただけましたら、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条第１項の規定に基づきまして、市議会へ提出させていただくとともにホームページ等で公表する予定でございます。
　以上、よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

【教育長】
　ただいま提案説明のありました議案について質疑に入ります。ご意見等ございましたらお願いします。

【渡辺委員】
　中間評価による見直しが行われたとのことですが、これまでやってきたことを変えるというのは大変なことだと思います。単に報告するための結果ではなくて、その結果からその後どういうふうにやっていくかっていうところが一番大切なところだと思います。目標が前にあって、そこに向けて見直しとなったのであれば、適正な改変がなされたと思いますので、ご英断を素晴らしいと思います。評価の方も、上がったとしても下がったとしても、それを後につなげるっていうところが大事だと思うので、現場の先生方、あるいは現場で活躍してくださっている方々にメッセージが届くとすれば、さらにモチベーションを高めていくようなメッセージで伝えていただけるように、所属長の方々はお願いしたいと

思います。いずれにしてもご努力の結果がここに表れていると思いますので、これまでのご功績に感謝を言いたいと思います。

【総務課長】
　目標指標につきましては、経年によって目標を超えたものがあるなど、そのままにしておくことの課題意識もあり、また、政策の効果を図るにあたって、より良い指標を検討しているというところもございます。ＰＣＤＡを回しながら、その政策の進捗を把握するというような計画にもなっていますので、より良い指標により政策の成果を図っていきたいと思います。

【北爪委員】
　指標の中で、学校評価アンケートの結果を使っているものがあると思います。私自身も保護者として回答していますが、たくさんある質問の中に、どうしてもわからない項目があって、このくらいかなあという回答になってしまっている部分っていうのも、多分ほかの保護者の方もあると思います。そういった、このぐらいかなみたいな部分が、もし評価に大きく影響している可能性があったら、ちょっともったいないかなっていうふうな印象を受けました。全部が全部伝わるというのは難しいと思うんですけれども、もうちょっと伝わる方法とか、わからないなどの選択肢があるとか、何かあったらいいのかなと思います。

【学校教育課長】
　学校評価アンケートの保護者回答の部分について、わかりにくいのではないかという課題は持っているところでございました。市教委としては、保護者の方が具体的な場面を思い出しながら評価できるようにということで、今年から、各学校ごとに補助シートを作成しまして、保護者の方に配布をして、それを見ながらアンケートに答えていただくという工夫をさせていただきました。今年度の様子を見ながら、改善に努めてまいりたいと思います。

【畠山委員】
　本編資料の５９、６０ページですけども、不登校対策の充実で、これはなかなか難しい問題だと思ってはいるんですけど、目標指標の２つ目に、専門的な相談・指導、もしくは学校外の機関からの相談・指導とありますが、最終目標１００％で実績が５１．１％です。学識経験者のご意見としても、改善が必要な点として書かれています。この問題について、今の段階ではどんなふうに思われているのかお聞かせいただければと思います。

【教育支援課長】
　確かに最終目標が１００％ということで、かなり高い目標が設定されていて、学識経験者からも、そういったご意見がありました。校内教育支援教室の全校配置に向けて取り組みを進めているところです。

【畠山委員】
　各学校の校内教育支援教室の設置はすごく大事な取り組みだと思います。先生側の意識改革もまだかなり必要で、ものを作っても結局そこになんかいさせたらダメだ、教室にあ

げないと、みたいな考えの先生が未だにいらっしゃるんですね。

【教育長】
　どこかしらにつながっていきたい、という気持ちがあって１００％なのかなと思います。いろんなチャンネルがあってほしいなと思います。

【教育長】
　他になければ、以上で質疑を終了します。
　それでは、議案第２１号について、可決することに異議ありませんか。

（異議なし）

【教育長】
　異議のないものと認めます。
　よって、議案第２１号について可決いたします。

【教育長】
　日程第五。その他について報告事項があります。説明をお願いいたします。

その他１　行事について
【総務課長】
　資料の１ページをご覧ください。
　教育委員会の１１月定例会でございますが、１１月１７日火曜日午後２時３０分から、市役所１１階北会議室において開催予定です。（ほか、資料の主だった行事を紹介）

その他２　令和８年度学区別教育懇話会実施結果について
【学務管理課長】
　その他２「令和８年度学区別教育懇話会実施結果について」ご報告いたします。資料の１２ページをご覧ください。
　教育懇話会は、市ＰＴＡ連合会が主催し、各学校のＰＴＡの活動や家庭教育の充実、活性化を図ることをねらいとしております。また、教育長、教育委員及び事務局関係者が出席し、学校や保護者と意見交換を行うことで、三者の連携を深め、本市の教育の充実を図ることを目的として、７月から８月にかけて、市内７つの学区で開催いたしました。
　今年度の教育懇話会のテーマは、令和８年４月１日に施行されました「前橋市こども基本条例」の中に示されている、前橋市が大切にしたい「こどもの４つの権利」を基に設定することとしました。各学校のＰＴＡ会長が集まる会長会議で、それぞれの学区で特に大切にしたい権利について話し合い、当番校が中心となってテーマを設定しました。各学区の懇話会では、設定されたテーマに沿って、ＰＴＡ会長、校長、教育委員会関係者が活発に意見交換を行い、充実した内容となりました。
　教育委員の皆様にも意見交換にご参加いただくとともに、多くの示唆に富むお話をいただき、誠にありがとうございました。
　今年度、各学区で出された主な話題につきましては、資料に載せておきましたので、そちらをご覧ください。また、学区別教育懇話会の様子は、市ＰＴＡ連合会のホームページ

にも掲載いたしました。
　今後も、学校・家庭・地域と連携を図りながら、「多様な人と協働しながら、主体的・創造的に活動する子供」の育成に努めてまいりたいと思います。
　説明は以上です。

その他３　まえばし学校フェスタ２０２６について

【学務管理課長】
　その他３「まえばし学校フェスタ２０２６について」ご説明いたします。資料１５ページをご覧ください。
　１の趣旨についてですが、本フェスタは、各学校・園の日頃の教育活動の成果を発表し、学校文化を広く市民に知っていただくことを目的として開催しており、今回で１５回目となります。
　３の共催についてですが、本フェスタは、市内６つのロータリークラブとの共催により開催しております。前日の会場設営・作品展示等の準備から、当日の運営、終了後の撤収作業まで、教育委員会事務局と各ロータリークラブの方々が、３日間にわたってスタッフとして活動し、運営しております。
　開催日時、会場、内容等については、資料に記載のとおりとなります。なお、今年度は学校としての参加のほか、個人としての研究発表「マイ・チャレンジの発表」を新たな発表として企画いたしました。
　また、今年度は前橋市が制定した「こども権利の日」のイベントをこども政策課と合同開催いたします。
　今年度も、市のホームページやＳＮＳ等を活用した広報活動を行い、より多くのこどもたちや保護者、市民のみなさんに前橋の学校文化を知っていただく機会にしたいと考えております。
　説明は以上です。

その他４　滝窪小金丸分校適正規模合同地区委員会報告書の提出について

【学務管理課長】
　その他４「滝窪小金丸分校適正規模合同地区委員会報告書の提出について」ご報告いたします。まず初めに、本市の適正規模・適正配置の取組について説明します。
　資料の１６ページをご覧ください。
　本市では、少子化の進行などの社会状況の変化に対応するため、令和７年３月に「前橋市立小中学校の適正規模・適正配置基本方針」を改訂し、この方針に基づき、適正規模・適正配置に関する取組を進めております。
　まず、１適正規模地区委員会ですが、小規模の検討対象校である小学校 10 校、中学校 3 校の計 13 校において、様々な立場の方に地区委員会の委員になっていただき、協議を行っていただいております。検討対象校は資料に記載のとおりです。
　続いて、２適正規模地区委員会の流れですが、地区委員会では、現状や小規模校のよさ、課題等について教育委員会より情報提供し、検討対象校の今後の在り方について、協議いただいています。協議の結果、「統合・通学区域の見直しが望ましい」という結論の場合は、合同地区委員会を設置して協議いただき、統合等の結論が出ましたら、統合等に向けた具体的な準備が始まります。
　また、統合の結論に至らず、現状維持とした場合にも地区委員会は解散せず、継続して

現状説明や意見交換の場を設けてまいりたいと考えております。資料の 17 ページは、検討対象校を図示したものですので、後ほどご確認ください。

次に、滝窪小・金丸分校適正規模合同地区委員会から提出された報告書について説明します。滝窪小学校金丸分校では、地区委員会を３回実施した結果、本校との統合の方向で話がまとまり、令和８年７月に教育長へ報告書が提出されました。本校でも受け入れる方向性となり、合同地区委員会を設置し、令和９年４月の統合に向けて具体的な検討をしております。資料の１８ページをご覧ください。

こちらの資料は、１０月５日に合同地区委員会の委員長から教育長に提出いただいた報告書となっております。２統合に向けた基本的な考え方ですが、統合の時期、統合校の設置場所、また、統合校の校名について記載されています。

続いて１９ページをご覧ください。３今後の統合の進め方として、【具体的な検討事項】が記載のとおり５つ挙げられています。特に、金丸分校児童の通学方法については、保護者からも強く要望されていますので、令和９年４月の統合に向けて、教育委員会内の各課をはじめ、市長部局とも連携しながら、全庁的に取り組んでまいります。

報告は以上となります。

その他５　前橋市高校生学習室運営業務に係る公募型プロポーザル実施について

【生涯学習課長】

「前橋市高校生学習室運営業務に係る公募型プロポーザル実施について」ご報告いたします。資料の２０ページをご覧ください。

前橋市高校生学習室の運営については、業務の円滑化及び効率化を図るため、民間委託を実施しております。現在は、３年前に実施したプロポーザルにおいて優先交渉者となったNext Generationが運営を行っております。

現行の委託契約は令和８年度末をもって終了するため、令和９年度以降も引き続き民間委託を継続し、事業者の選定についてはプロポーザル方式を採用したいと考えております。

対象施設及び委託期間については、資料に記載のとおりです。

次に、４のスケジュールについてです。

提出書類の受付期間は１０月１９日から１０月２８日までとし、一次審査を１１月２日に実施します。一次審査を通過した提案者を対象とした二次審査は１１月１６日に実施します。二次審査の結果は１１月２５日に通知し、優先交渉者との協議を経た後、１１月３０日にホームページで選考結果を公表します。なお、契約締結日は令和９年４月１日です。

説明は以上です。

その他６　セミナー「人生 100 年時代の学びと人づくり」について

【生涯学習課長】

セミナー「人生 100 年時代の学びと人づくり～社会教育士を知る集い～」についてご報告いたします。資料の２１ページのリーフレットをご覧ください。

昨年に引き続き、社会教育にかかるセミナーを開催いたします。

本年は、学ぶ人、学ぼうとする人たちの関係を耕し、お互いが共感できる良き存在として認めあう地域コミュニティを育んでいくため、社会教育に関わる「人材と役割」について考えることをテーマにします。

日程は、令和８年１１月２９日（日）、場所は、中央央公民館３階となります。

プログラムにつきましては、１２時から ホール前ホワイエにて「ワークショップ・展示」

があり、本市の社会教育主事ワーキングチームと放送大学が実施します。１３時３０分から ３階ホールにて「基調講演」で、テーマは、社会に「信任」をつくる−社会教育のビジョンと人づくり−、講師は、大正大学地域創生学部教授・東京大学名誉教授の牧野篤先生 です。

続いて１４時４０分から「パネルディスカッション」で、ファシリテーターに埼玉工業大学教授の茂木勇先生、パネラーに①基調講演から継続して牧野篤先生、②文部科学省の林剛史氏、③フリーナレーターの田中美貴子氏をお招きします。

聴講する皆様は、教育委員さん、社会教育委員さん、公民館運営審議会委員さん、自治会長さん、生涯学習奨励員さんほか、社会教育に関心のある一般の方など広く周知を図って参ります。申込みは、右下のフォームからエントリーしていただきます。

裏面は、ワークショップ・展示、登壇者のプロフィール、社会教育士について、詳しく掲載いたしましたので、お読み取りください。

説明は以上です。

【教育長】

総務課からの行事予定で、次回の定例会についてですが、１１月１７日火曜日、午後２時３０分でよろしいでしょうか。

（異議なし）

【教育長】

では、１１月定例会については１１月１７日火曜日、午後２時３０分からと決定いたします。

ほかに、ただ今の報告について質疑等ありますか。

【渡辺委員】

１５ページのまえばし学校フェスタ２０２６で、マイチャレンジの発表というのを新たになさるということですが、これをやるに至った背景と、どんなふうにやるのか教えてください。

【学務管理課長】

ある学校の校長先生から、個人的に探求活動をしているこどもの発表の場が設けられないか、というご相談がありました。そこで検討した結果、個人的に文化的探究活動をしているこどもたちの発表の場を設けることを目的として、各学校からの希望だけでなく、広く、すぐーるですとかチラシ配布にて各小中学校の児童生徒保護者へ周知したところ、６名の児童生徒からの応募がございました。現在、ステージ発表、ブース発表、展示など、発表者の意向を聞きながら、その発表について調整をしているところでございます。

【渡辺委員】

申し出があった一つのところだけじゃなく、応募制にもされ、自分で探求してることを誰かに聞いてもらえるというのは、その後の意欲とかにもつながると思いますので、とっても素敵なことだと思います。

【教育長】
発表を楽しみにしたいと思います。

【渡辺委員】
１８ページで、統合の話がまとまったというご報告でしたが、それぞれの皆さんに色々とご苦労があったと思いますし、１９ページの終わりのところを読むと、金丸分校さんの思いみたいなものが伝わってくるなと思います。こういうふうに一つ流れができたことは、今後検討されていく動きに対して、どのような影響があると思われますか。

【学務管理課長】
金丸分校の地域や保護者の方の色々な思いを私たちも重く受け止めております。今後、閉校式やお別れの会等を実施する予定ですので、地域としっかり話し合いながら、いい式になるように検討したいと思います。また、他への波及ということですが、他の１２の地域でも地区委員会を、今年度、１地区につき４回設けさせていただく予定です。金丸分校と同じように進めているところですが、今回の進め方は大いに参考になると思います。具体的検討事項のところもありますが、通学方法とか、こどもの心のケアなどは他の地域でも出てるところでもありますので、今回の事例を基にして、さらに他の地域でも、地区委員さん、保護者、地域の声を丁寧に聞きながら進めてもらいたいなと思います。

【教育長】
こどもたちを第一に考えてということではありますが、学校が一つなくなるということは重い決断だと思いますので、皆さんの思いを大切にしながら進んでいくといいと思います。

【奈良委員】
行事予定で、１７日の里山学校ですが、どのような内容かわかったら教えてください。１８時から２０時ということで、こどもたちが空を実際に見るのか、室内の勉強なのか大変興味があります。

【教育支援課長】
天体望遠鏡で冬の星空を観察しよう、ということで、富士見公民館の屋上から実際に観察するというものです。対象は前橋市内在住の小中学生の親子、講師が児童文化センターの職員です。

【奈良委員】
事前予約制ですか。

【教育支援課長】
１０月１３日からＱＲコードでの申し込みが始まっているところです。

【奈良委員】
この秋の深まりの中、あれが何座だなんて言いながら天体を見るなんてすごくいいですよね。天気がいいことを祈ります。

【北爪委員】
１２ページの学区別教育懇話会ですが、普段なかなか関わることがない教育委員会と保護者の方々と学校の先生方が、膝を突き合わせてお話ができる機会ということで、本当に最後にはよかったなという会に毎年なっていると思います。私自身、教育委員として出席させていただいていますが、保護者寄りの目線で出席をさせていただいています。今年はグループに入って意見を言うのではなくて、色々なグループを見させていただく形でしたが、客観的に見させていただくと、ＰＴＡ会長さんとか保護者の方々がものすごく緊張されてるのがすごく印象的でした。教育委員会事務局の方々は年に７回あって、学校の先生も年に１回、テーマは違うけども毎年毎年あって、なんとなく流れが分かっていて想像できると思うんですけど、やっぱり初めて参加するＰＴＡ会長さんとか保護者の方は、すごくドキドキしながら、緊張しながら発言されてるっていうのが、目に見えてわかったのがすごく印象的でした。時期的なものもありますし、会を準備してくださったＰＴＡ、学校、関係者への敬意もあるので、スーツが良くないって言ってるわけじゃないんですけれども、例えば黒のスーツで前にズラズラと並んでると圧が感じられることもあるので、色々な方が色々な意見を話しやすい環境づくり、場所づくりっていうのも、すごく大切な場面だなというふうに感じました。なんとなくですが、６ページにある学力・学習状況調査の結果の３（２０）で、自分の意見を言っても否定されないと思いますか、というのが、前橋市のこどもたちは全国を下回っているのは、なんとなく大人たちがそういう雰囲気を作って、そういうふうにしてきてしまったからこうなってるんじゃないかななんていうところもなんとなく今思ったので、そんなに難しくないと思うので、何か雰囲気づくりをやっていけたらいいなと思いました。

【学務管理課長】
貴重な意見ありがとうございます。今年度はこども基本条例をテーマとしましたので、特に例年以上に会長会議で、どんなテーマでどういう内容にしていこうかっていうのを時間をかけて話し合っていただいたかなと思います。そのため、各会長さん方はどんな内容の話にしていこうかなとか、ちょっと考える時間はあったのかなと思います。また、当番校のＰＴＡの方が本当に綿密に計画を立ててくださって、雰囲気も含めて、いいものにしていただいているので、いただいたご意見を踏まえて、また次年度の計画に落とし込んでいきたいと思います。

【教育長】
私も緊張してたので伝染してしまいましたかね。話しやすい雰囲気は大事かなと思うし、否定されない雰囲気も大事だと思いますが、畠山委員さんから見て何かありますか。

【畠山委員】
私は前々から思っていたのですが、７、８人で１グループになりますが、あの人数だとやっぱり発言しにくくなりますね。もう少し少人数にして、声が届く範囲で３、４人のグループにした方がもうちょっとワイワイとできるかなと思います。

【教育長】
参考にさせていただきたいと思います。

【教育長】
ほかになければ、以上で質疑を終わります。
以上をもちまして教育委員会１０月定例会を閉会いたします。

（午後３時３３分）